

虹の架け橋

スクールソーシャルワーカー 川村 沙織

皆さんも今までに一度は「発達障害」という言葉や「グレーゾーン」という言葉を耳にしたことがあると思います。何が違うのか、それぞれの障害の特性はどのようなものかなどを知って頂き、何か気になる症状等がある場合はぜひ相談をしてほしいと思っています。

知的障害と発達障害の違い

| | |
|--|---|
| <p>知的障害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な知能のおくれが見られる (言葉やルールの習得に時間がかかるなど) ・適応行動に障害がある (自分で判断するのがとても苦手など) ・18歳未満で障害があらわれる | <p>(共通点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の「わがまま」や「努力不足」が原因ではない ・脳機能の障害などが原因 ・学習・仕事・対人関係などで障害が生じている |
| <p>ASD (自閉症など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感情の共有が苦手・強いこだわりがある ・感覚刺激にとても敏感(またはとても鈍感) ・子供の頃からこれらの症状が見られる ・軽度の場合、大人になってから判明することもある ・薬で症状を緩和できる場合がある | <p>ADHD (注意欠陥多動性障害)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢に応じた平均的な発達から見て、 ・集中力がない・物をなくす ・順番に取り組むのが困難 ・じっとしてられない・待てない ・といった傾向が強い ・12歳以前に、これらの症状のいくつかが出ている ・薬で症状を緩和できる場合がある |
| | <p>LD (学習障害)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的な知能のおくれはないが ・読み・書き・計算・推論などで特別苦手なものがある |

☆「発達障害」ってどんな障害？

「知的障害」との違いって？☆

発達障害とは、生まれつき脳機能の発達に偏りが見られる障害で、環境とのミスマッチから、社会生活において困りごとが起こる障害のことです。発達障害は、主に3種類に分けられます。発達障害と知的障害を併発することもあります。親の育て方が悪いとか、本人の怠けや努力不足と誤解されることもあるのですが違います。発達障害は、見た目ではその特性や苦勞がわかりにくく、また、抱えている困難、持っている能力や個性なども様々なため、その人の特性や状況に応じた理解と支援が必要となります。障害の種類や程度の判定は、自己判断では出来ません。必ず専門機関や医療機関を受診し、医師の判定を受ける必要があります。

☆グレーゾーンって？☆

発達障害の症状がいくつか認められるものの、診断基準を全て満たすわけではないため、発達障害との確定診断をつけられない状態のことをグレーゾーンと言いますが、**正式な診断名ではありません**。また、発達障害の診断基準を全て満たしていないからといって、グレーゾーンの人は症状が軽いというわけではありません。

☆発達障害かも…？相談できる場所は？☆

障害についての相談ができる機関には、児童相談所や市町村の母子保健担当部署の療育相談などがあります。また、発達障害に特化して相談できる機関としては、「発達障害者支援センター」があります。青森県内には3カ所(青森市・八戸市・五所川原市)に設置されています。五所川原市にある施設は「発達障害者支援センター わかば」です。



☆「発達障害者支援センター わかば」について☆

発達障害の診断を受けていない人も相談は可能です。本人が相談に行けることが一番いいのですが、家族及び学校関係者からの相談も可能です。相談に年齢制限はなく無料ですが、予約が必要です。※検査や診断、職業紹介は行っていません。

住 所 : 五所川原市若葉3丁目4-10 電話番号 : 0173-26-5254

開 所 日 : 月曜日から金曜日(祝日含む)・第3土曜日 8:30~17:30

☆スクールソーシャルワーカーから☆

- ① この先どうしたらいいのか、誰に相談したらいいのかなど困った場合は、一人で悩まず、まずは学校(HR担任・養護教諭など)に相談してください。
- ② 学校だけでの対応が難しいと判断された場合は、必要に応じてスクールソーシャルワーカーが面談(保護者又は生徒本人)を行います。
- ③ 状況に応じて病院や関係する相談機関等の情報提供、および必要な関係機関への紹介もします。
- ④ 病院や相談機関等に行く場合は、スクールソーシャルワーカーが同行することも可能です。

